三条市立森町小学校　学校便り　　令和2年5月25日

森小っ子

令和２年度
第２号

教　育　目　標　「　進んでやりぬく、たくましい子ども」

※森町小HPのURLは、https://www.city.sanjo.niigata.jp/section/morimatisyo/

足の感触、手の感覚を大切に

校長　佐野　正俊

１９日、５年生の子どもたちは、学校田での田植えを行いました。新型コロナウイルス感染症のため、危ぶまれた田植えでしたが、多くの皆様のお力を借り、無事、終えることができました。

森町小では、総合的な学習の時間の一環として、毎年子どもたちの手で、田植えや稲刈りを実施しています。その活動のもつ教育的意味は何なのでしょうか。現代は、田植機やコンバインを使えば、もっと簡単に作業ができます。ましてや、人工知能（AI）、ビッグデータ、IoT等の先端技術があらゆる産業や社会生活に取り入れられ、農業も無人トラクターがcm単位で田畑を耕すようになる「超スマート社会」を、国を挙げて推進している今日です。

今の子どもたちは、ゲームやインターネット、バーチャルの世界に触れる機会が多く、実体験が少ない傾向にあります。そのため、たとえ頭の中では理解できても、そこで働く人々の努力や苦労、仕事の大変さ、稲が生長していく楽しさや収穫の喜びを、実感を伴って理解できない心配があります。だから、田植えでは、田んぼに入った時の足の「にゅるっ」とした感触、数本の苗の根元を３本の指で押さえて植えるあの感覚を大切にしてもらいたいのです。

近い未来、超スマート社会が到来しても、仕事の苦労や喜びを実感できる、心豊かな森小っ子に育ってほしいと思います。秋には、おいしい森笑米（もりしょうまい）が収穫できるといいですね。

今月の森小ニュース

◇5/10 PTA資源物回収

あいにくの小雨の中、ＰＴＡ環境部の役員の皆さんを中心に、旧荒沢小と森町小の２か所に分かれて、ＰＴＡ資源物回収を実施しました。今年は、外出自粛が続いたためか、例年より多くの資源物が回収できました。ご協力、ありがとうございました。なお、収益金は子どもたちのために活用させていただきます。

収益金は、94,604円でした！

◇5/11 学校再開!

新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休業も明け、子どもたちが学校に戻ってきました。初日のこの日は全員出席。幸先の良い再開となりました。元気な子も眠そうな子もいましたが、やはり、学校は子どもたちの声が響かないと寂しいものです。

なお、休校中、自宅での学習プリントの手助けになるよう、ネット上に授業の動画を準備しました。職員研修を行い、協力し合いながら、森町小全体で６７本もの授業動画をアップロードしました。

◇5/12 第1回森町小学校運営協議会の開催

今年度、第１回の学校運営協議会を開催しました。市教委の今井指導主事（下田地区担当）から委嘱状が手渡されたのち、協議が進められました。今後も、子どもたちのためにより有意義な会となるようにしたいと思います。ありがとうございました。なお、今年度のメンバーは次のとおりです。

内藤弘一会長、大竹和志副会長、中山稔ＣＳﾃﾞｨﾚｸﾀｰ、松井信弘委員、小池笑子委員、渡邉信樹委員、目黒雅克委員、藤田清之委員、今井一寿委員、小林豊委員、難波麻梨佳委員、山口晃委員、嘉代祐紀委員

◇5/12 交通安全教室

１・２年生は、安全な横断や歩行の仕方、３年生以上は、安全な自転車乗りについて指導していただきました。子どもたちは、指導員の方々の話をよく聞き、注意して横断したり自転車の運転をしたりしていました。ご家庭でも、子どもたちの交通安全について、お声がけをお願いいたします。

◇5/15 一年生を迎える会

休校措置のため、延期していた「一年生を迎える会」を実施しました。密着しないようにしたりマスクをしたりして、注意しながら子どもたちは参加しました。制約の多い中、かもしか班（縦割り班）対抗のクイズもあり、楽しいひと時を過ごすことができました。

◇5/15 Zoomを用いた運用テストの実施

児童と担任とがオンライン上で交流できるよう、Zoom というテレビ・Web 会議アプリを使った運用テストを実施しました。三条市の小・中学校では、休校等の非常時に備え、これを活用して健康状態の確認や、学習の指示を行う予定です。

◇5/19 学校田の田植え（5年生）

稲作サポータの渡辺智行様（庭月）のご指導の下、森町小学校運営協議会CSﾃﾞｨﾚｸﾀｰ中山稔様（森町）をはじめ、稲作ボランティア、地域おこし協力隊等の皆様のお力を借り、学校田の田植えを行いました。田んぼで転んで泥だらけになるハプニングもありましたが、しっかりと最後まで苗を植えることができました。ご協力ありがとうございました。

今後の教育活動の変更について（お知らせ）

新型コロナウイルス感染症対策の緊急事態宣言が解除されましたが、今後も「新しい（学校）生活様式」は継続すべきであることから、今後の臨時休業も見込んだ対策として、三条市教育委員会は、次のとおり授業日や行事等の変更について決定しましたので、お知らせいたします。

１　実質授業時数の適正化に向けて

（１）夏季休業の短縮（１学期終業式７/31　２学期始業式８/24）
夏季休業を８月１日（土）～８月23日（日）とし、実質授業日数11日分を確保する。
※ただし、「暑さ対策ガイドライン」に則り熱中症予防の臨時休業も有り得る。

２　２学期の教育委員会主催・共催事業の変更

５月13日付け文部科学省Ｑ＆Ａ（ガイドライン付則）より「運動会、文化祭、学習発表会等、児童生徒が密集して長時間活動する学校行事の当面の中止」について通知があったことを受けて、各種事業・行事について次のとおり変更する。

また、学校行事の中止を通常授業時数の確保と未履修内容の克服につなげ、一層の学習保障を図るものとする。

（１）８/18実施「わくわく科学フェスティバル」の中止
・例年1,000人規模で行われる行事であり、３密回避が困難であることから中止とする。

（２）８/19実施「弁当の日講演会」の中止
・会場の体育文化会館の３密の回避が難しく、参加者制限をした場合の効果が期待できないことから中止とする。

（３）９/16から延期としていた「小学校親善陸上大会」の中止
・高等学校体育連盟及び中学校体育連盟の全活動が８月末まで全面中止となり、小学校体育連盟が当該行事の中止の意向を示したことについて賛同する。

（４）10/１．２「小学校音楽祭」の中止
・会場の体育文化会館は３密の回避が難しく、それ以外の会場の確保が困難であることから中止とする。

（５）学びのマルシェ土曜講座は学校授業の復習がメインであることから、開始を２週間遅らせて開始（６/20）する。（日曜マルシェは６/14開始）双方とも実質回数に変更なし。

◇マスクの寄贈ありがとうございました！

新型コロナウイルス感染症対策のため、文部科学省からの布製マスクのほか、これまでに道の駅「漢学の里 しただ」様、燕三条青年会議所様から、布製マスクを寄贈していただきました。

そして、このたび燕市のビーカム株式会社様からも、キッズマスク一人一枚程度寄贈していただきました。なお、個包装でなく箱で頂いたので、個別には配付せずに学校で管理し適切に活用していく予定です。ご承知置きください。